

ICボルドー

66D

ICボルドーでさといも疫病を
しっかり予防！！

- 優れた残効性
- 収穫前日数・散布回数の制限なし

有効成分：塩基性硫酸銅28.1%（銅として3.7%）
毒性：普通物

殺菌剤分類 M01

●適用病害と使用方法<さといものみ抜粋> ※2023年11月時点

※2023年10月に登録を取得しました

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数
さといも	疫病	100倍	100~300L /10a	—	—	散布	—

●ICボルドーは希釈する前によくもみほぐしてください

凹凸のない平らな所で、ICボルドー袋の端を持ち、袋の中心部にこぶしを押し込むようにしてよくもみほぐす。

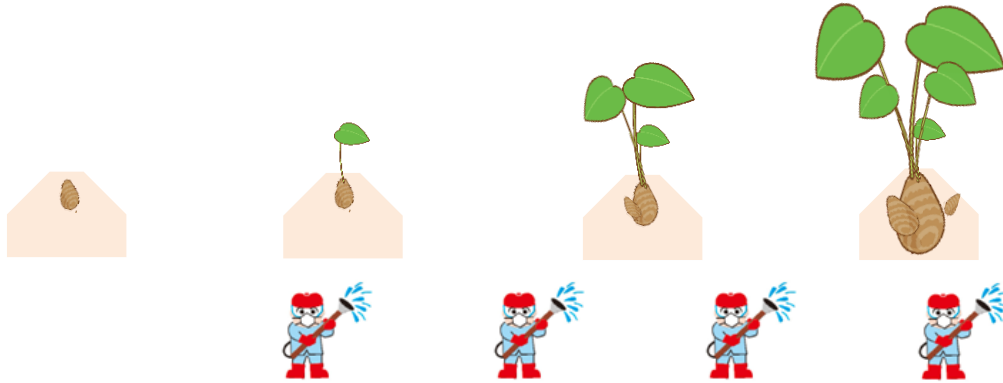


● 散布適期

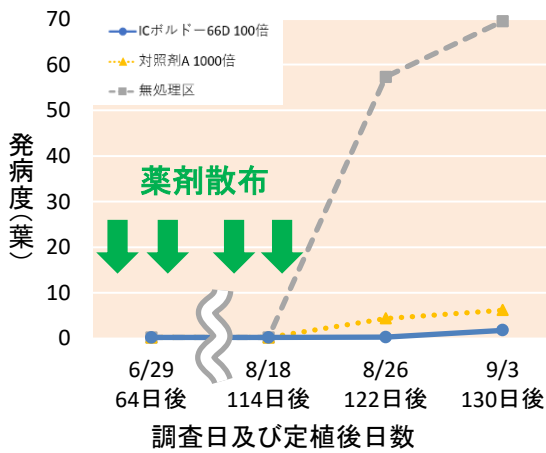
ICボルドー66D 100倍を散布

生育期間中

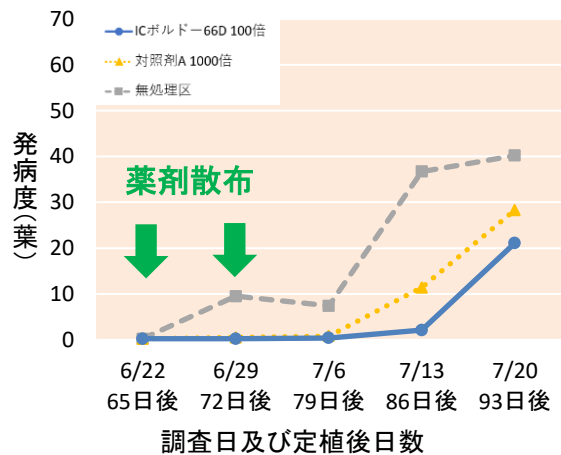
▶ 降雨前に葉への感染を防ぐために散布する



● さといも疫病 委託試験成績



試験場所: 宮崎県総合農業試験場(2021年)
 発生状況: 多発生(接種) 品種: 石川早生
 定植日: 4月26日
 処理日: 6月23日、6月30日、7月15日、7月21日、7月27日、
 8月4日、8月10日、8月19日の計8回
 処理方法: 300ℓ/10a相当を散布。
 各区とも展着剤(スカッシュ2,000倍)を加用した。
 調査日: 6月29日、7月15日、8月4日、
 8月18日(試験区外で初発確認)、
 8月26日(最終散布7日後)、9月3日(最終散布14日後)
 調査方法: 各区10株について発病指数別に調査を実施。



試験場所: 鹿児島県農業開発総合センター(2022年)
 発生状況: 多発生(接種) 品種: 石川早生
 定植日: 4月18日
 処理日: 6月22日、29日の計2回
 処理方法: 300ℓ/10a相当を散布。
 各区とも展着剤(スカッシュ2,000倍)を加用した。
 調査日: 6月22日(初回散布前)、6月29日(最終散布前)、
 7月6日(最終散布7日後)、7月13日(最終散布14日後)、
 7月20日(最終散布21日後)
 調査方法: 各区11株の全葉について発病指数別に調査を実施。

● 注意事項

2022年鹿児島県の試験では葉が部分的に褐変するような薬害が見られましたが、生育上問題はないとの見解をいただいています

